

立ち読み版

Interview

島田 慎二 さん

株式会社千葉ジェッツふなばし 代表取締役会長
しまだ しんじ

プロフィール：1970年、新潟県生まれ。日本大学卒業後、大手旅行会社勤務を経て、1995年に法人向け海外旅行を扱う株式会社ウエストシップを設立。その後、2001年には海外出張専門の旅行を扱う株式会社ハルインターナショナル、さらに2010年にコンサルティング事業を展開する株式会社リカオンを設立。2012年、株式会社ASPE（現：株式会社千葉ジェッツふなばし）の代表取締役社長就任を経て、公益社団法人ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ（通称：Bリーグ）の副理事長や、一般社団法人日本トップリーグ連携機構の理事など要職を歴任。2019年8月に株式会社千葉ジェッツふなばしの代表取締役社長を退任し、現職。2019年12月に一般社団法人全日本テコンドー協会の副会長に就任。

【写真提供】 株式会社千葉ジェッツふなばし

事業承継とは経営者の生き方そのもの 経営理念を幹にしたバトンタッチを

【取材・文】 鎌市 航太郎 中小企業診断士

— The prologue

「観客動員数・営業収入リーグナンバー1」、「天皇杯3連覇」、「日本人初の1億円プレーヤー誕生」——。プロバスケットボールチームの千葉ジェッツは、いまやBリーグを牽引する存在だ。しかし、運営会社の株式会社千葉ジェッツふなばし（以下、ジェッツ）は8年前、資金難により厳しい財政状態であったという。

そうした中、現会長の島田慎二氏に白羽の矢が立った。もともと経営コンサルタントとして活動していた島田氏は、社長就任後に経営理念を「千葉ジェッツを

取り巻く全ての人たちと共にハッピーになる」と定め、強いリーダーシップにより改革を推し進めることで業績を回復させた。

ところが、順風満帆になったところで大きな決断を下す。2019年8月、当時29歳だった米盛勇哉氏に社長の座を譲り、自らは会長となったのだ。その背景には何があったのか。

島田氏に話を伺い、永続的に経営を行ううえで避けて通れない「事業承継」の勘所も明らかにしたい。

続きは雑誌で